

平成26年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成26年6月18日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総合企画部 交通計画課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>6. 北総鉄道の運賃引下げについて</p> <p>(1) 北総鉄道は純利益を増やしており、こうした条件を活かせば補助金なしでも引下げ幅の拡大は可能だと思うが、県の認識はどうか。</p>	<p>1 北総鉄道は、平成24年度決算において、いまだ繰越損失約230億円、有利子負債約880億円を抱えており、中長期的には経営健全化のための努力が必要な状況であると認識しています。</p>	<p>副知事 諸橋 省明</p>

平成26年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成26年6月18日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総合企画部 交通計画課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>6. 北総鉄道の運賃引下げについて</p> <p>(2) 北総鉄道が示した補助金の必要性は、「将来に備える」というだけで具体的な根拠はない。県はこうした事実を踏まえて、北総鉄道と親会社の京成電鉄に補助金なしでの引下げの継続と拡大を求めるべきと思うがどうか。</p>	<p>1 今般の運賃問題に係る協議では、補助金の継続の是非も含め、平成27年度以降の運賃の取り扱いについて真摯に議論し、鉄道事業者、県、沿線市がそれぞれ最大限の努力をした結果、今回の合意に至ったものです。</p>	<p>副知事 諸橋 省明</p>

平成26年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成26年6月18日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総合企画部 交通計画課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>6. 北総鉄道の運賃引下げについて</p> <p>(3) 耐震補強への補助金と企業庁の貸付金返済猶予措置は、これまでの補助額と比べて大幅に増えるのに、引下げ幅が縮小されるのでは県民の納得が得られないと思うが、知事の認識はどうか。</p>	<p>1 鉄道施設の耐震化補助については、国土強靱化策の一環として国の補助対象とされている耐震化事業に対して、県民や利用者の安全の確保を図る観点から県としても支援を検討するものであり、値下げ補助金とは全く異なるものです。</p> <p>2 また、貸付金の返済猶予措置については、鉄道利用者の利益を第一に考え、特に家計への影響が大きい通学定期運賃の値上げだけは何としても避けたいとの考えから、大局的な判断を求めて提案したものです。</p>	<p>知事 森田 健作</p>

平成26年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成26年6月18日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 総合企画部 交通計画課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答弁要旨	答弁者
<p>6. 北総鉄道の運賃引下げについて (要望) 京成電鉄と再協議を行い、 運賃の大幅引下げを実現させる よう、強く求める。</p>		